

新潟県から4箇所のため池が「ため池百選」に選定されました！

農地建設課防災係

■1. はじめに

ため池が有する多様な役割と保全の必要性について、国民から理解を得ることを目的として、農林水産省により「ため池百選」が実施されました。

全国600箇所を上回る応募の中から、候補地として一次選定された287箇所を対象に一般投票が行なわれ、新潟県からは4箇所が選定されました。

選定されたため池は以下のとおりです。

■2. 百選選定ため池の紹介

○ 青野池（上越市青野）

青野池は400年以上前に築造され、現在も120haの水田に水を供給しています。

カモ、シラサギなどの鳥類や、ヌマエビ、ホタル、サワガニなどの水生生物、ハンゲショウ、トコワラビ、カキツバタ、カタクリなどの植物が確認される自然豊かなため池です。

ほこらのある弁天島があり、島に通じる堤防には榛の木が植生され、神秘的な景観を呈しています。春はほこらで地域住民による祭りが行われ、秋の落水時には鯉のつかみ取りが行われています。



弁天島の青野池

○ 坊ヶ池（上越市清里区青柳）

坊ヶ池は江戸時代に築造され、現在も258haの水田に水を供給しています。

竜神伝説の池として有名で、坊ヶ池の名は、伝説の池に棲む竜神の子どもである「坊太郎」からきており、毎年5月8日には「坊ヶ池のまつり」として湖畔の弁財天（水の神）にまつわる神事が昔から盛大に行われています。

小高い山の頂上に位置し、上越市街の夜景や夜空に輝く無数の星を眺めることができ、湖畔には天文台「星のふるさと館」、宿泊施設「山荘京ヶ岳」があります。また、湖畔の森林は県の「森林浴百選」に選定されており、湖畔のキャンプ場には、多くの利用者が訪れる憩いの場となっています。



坊ヶ池と残雪の妙高山

○ 朝日池（上越市大潟区内雁子新田）

朝日池は1646年に、高田藩の中谷内新田開発により築造され、現在も276haの水田に水を供給しています。

平成18年に外来魚駆除と地域コミュニティ活動の場として「大地引網漁」が、50年ぶりに復活し、地域内外から大勢の人々が訪れ交流の場となっています。毎年11月頃から渡り鳥が飛来し、数千のマガモ、コガモ、ハクガン、ヒシクイ、ハクチョウ、カルガモ、オシドリなどが羽を休めます。冬でも湖面が凍らず、渡り鳥の姿を間近に見れることから、多くのカメラマンが訪れています。



朝日池の大地引網漁

○ じゅんさい池（阿賀野市村岡）

じゅんさい池は明治時代以前に築造され、現在も2haの水田に水を供給しています。

名前の由来どおり一面にジュンサイが繁茂し、毎年6月に丸太イカダに乗って行く「ジュンサイ摘み」は集落の年中行事になっています。

池には、タヌキモ類やガガブタなどの絶滅危惧種に指定されている貴重な水中植物が生育しているほか、サギソウやサワギキョウなどが確認されます。また、日本で一番小さなハッチョウトンボをはじめ、様々なトンボを観察することができ、多様な生物が生息しています。



一面にジュンサイが広がるじゅんさい池

■3. おわりに

ため池は、何百年も前から築造され、現代に至っても貴重な水源として農業の礎の役割を果たしているほか、多様な役割を果たしています。

豊かな自然、美しい農村風景との調和、多様な生物の生息の場として、また、地域の歴史文化にも大きな影響を与えているため池の保全が必要です。

「ため池百選」への多数の応募、投票ありがとうございました。農林水産省HPで「ため池百選」の結果がご覧になれます。

アドレスはこちら→<http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/hyakusen.html>